

5月26日号に登場の新人翻訳家は — 足立 理英子（あだち りえこ）さん。



■ジャンル:社会・教育
■原書:PLAY
■タイトル:遊びスイッチ、オン!
■定価:1,500円+税(1,575円)
■著者:スチュアート・ブラウン
クリストファー・ヴォーン
■訳者:足立理英子 佐藤裕子 鈴木真理子 田中智美
深川恵 前田雅代
■監訳:芳賀靖史
■出版社:バベルプレス
■判型:A5版
■ISBN:978-4-89449-142-7

購入

毎月多くの翻訳書が出版され、新人翻訳家も多数誕生しています、これまでの出版経験を持つプロ翻訳家ばかりでなく、多様なチャンス積極的に活用することで、自己表現できる機会がひろがってきていることを感じます。編集部では、これらの新人翻訳家にスポットをあて、どんな方がデビューしているのかをご紹介します、インタビューによって翻訳出版の動機や、その背景も探っていきます。

連載103回目の5月25日号では、『遊びスイッチ、オン！ ～脳を活性化させ、そうぞう力を育む「遊び」の効果～』の翻訳者、足立 理英子（あだち りえこ）さんをご紹介します。

編集：

はじめにプロフィールと最近の活動についてお聞かせください。

足立：

養護学校、中学校の英語講師、製薬会社の社内翻訳者を経て2012年からフリーランスになりました。

現在は、鎌倉翻訳勉強会や翻訳セミナーを活用して、翻訳者仲間たちと出版にむけて楽しみながら切磋琢磨しています。

編集：

以前から英語と密接に結びついた生活を送られていたのですね。その中でも「翻訳」をお仕事に選ばれたわけですが、翻訳を学び、翻訳家を目指そうと思ったきっかけはどんなことですか。

足立：

英語関係の仕事が続けるうちにたどりつきました。年齢に関係なく、場所を選ばずどこでもできるのも魅力です。

編集：

おっしゃるように、パソコンが普及している現在、翻訳は地方や海外にお住まいの方もハンデを感じずに取り組める仕事の一つですものね。

さて、『遊びスイッチ、オン!』を出版されたのは、どんな理由や思いがあったのでしょうか。

足立：

脳科学や心理学に興味があり、子育てや仕事など、翻訳をしながら得た知識が実生活にも幅広く生かせると思いました。

編集：

なるほど～。ご自身の生活の中で実践できそうな書籍を選ばれたのですね。

では、本の内容のご紹介をしていただき、翻訳された感想、楽しかったこと、苦労したことなどお聞かせください。

足立：

子供の頃遊んでいたような、フローの状態、遊びパワーを生活のあらゆるシーンに取り入れると、人生が一段と楽しく豊かに自分らしく送れるようになりますよ、と教えてくれる本です。心理学、脳科学などの専門用語が多くて大変でしたが、新しい知識が増えるのがおもしろく、訳し終わってみるとそれらが役に立つ体験に変わっていました！

編集：

『遊びスイッチ～』が足立さんの役に立ったということは嬉しい限りです。そして、この本を選んだ足立さんの洞察力も素晴らしいと思います！私も読ませていただきましたが、医者である著者のブラウン博士は、遊びを多面的に分析されていて、どのエピソードも非常に興味深い内容でした。「遊びはよくないこと」と、とらえがちな現代、ぜひ皆さんに読んでいただきたい作品です。私の母に読んでもらうには〇〇年遅かったのが残念ですが！（笑）

足立：

本が完成したあと、共訳者の田中さんと出版記念パーティを開いて、東京から芳賀先生にもおこしいただき、紹介文を寄せていただいた赤穂先生などとともにゲームや第九のフラッシュモブを楽しんだのもいい思い出になりました。

編集：

まさに「遊び心」にあふれた書籍にふさわしいパーティだったようですね！

足立：

行きつけの美容院のオーナーは『行動を変えてくれ、遊ぶ罪悪感がなくなり楽しくなった』と年賀状で紹介してくれるなど、出入り業者の方や、ご自分の娘さんや、保険外交員の方などに本をすすめてくれました。保育所を経営している友人が保育士さんたちのために本を置いてくれたり、カフェのオーナーに本を読んでもらい本棚コーナーに本を置いてもらったりしたのも、ささやかな喜びでした。

編集：

それはうれしいエピソードですね。足立さんの翻訳者冥利に尽きるのではないのでしょうか。これからも、「遊び」の大切さに気づいてくださる方たちがもっともって増えてくるといいですね。

こうして、苦勞して完成された本を手にとった時のお気持ちはいかがでしたか。

足立：

オーディションから2年かかりましたので、やっとという感じでした。知人のカメラマンの写真を使ってもらえ、さらに愛着がわきました。

編集：

長い道のりを経ての作品ですから、手にしたときの喜びはひとしおだったと思います。

それでは最後に、これからの抱負や翻訳してみたい作品のことなどをお聞かせください。

足立：

ノンフィクション中心に、自伝やジェンダーに関する本、自己啓発本などを手がけていきたいです。

編集：

ワークショップではいろいろご苦勞もあったようですが、訳すことの楽しさが伝わってきました。これも足立さんが「遊び」を取り入れて、翻訳作業に臨まれたからかもしれませんね。ノンフィクション分野の翻訳にご興味があるとのことですが、新しい分野にチャレンジされ

て、翻訳の幅が広がり、ますますのご活躍を期待しております。本日はどうも有難うございました。

☆☆

<PR>

『遊びスイッチ、オン！ ～脳を活性化させ、そうぞう力を育む「遊び」の効果～』
人生にもっと「遊び」スパイスを！

「遊び」というと、一見、不真面目なイメージや罪悪感を持つ方もいるかと思いますが、この本では、「遊び」が仕事や私生活にとって重要なエッセンスであることを分かりやすく解説しています。

「遊び」を通じて成長し、仕事も私生活も充実させたい方にとって、ヒントになる一冊です。